# 令和6年度

# 事 業 報 告

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会

# 目次

基本方針		• • • • • •	••••• ]
社会福	祉事業		
法人運営事	事業		
理事会・	評議員会· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2
つるの福	· 祉発行 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		3
非常災害	<del>『基</del> 金事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		3
福祉活動推	推進事業 		
	·一一····· 上大会事業· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		4
歳末たす	- <sup>-</sup> けあい事業·····		4
地区社協	3支援事業· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		4
民生委員	・児童委員協議会への支援と助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		4
地域福祉	上活動計画事業(組織発展・強化計画含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5
社会福祉	L資金貸付事業· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		5
福祉バザ	<del>"</del> 一事業· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		5
ふれあいの	のまちづくり事業		
都留市ボ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		6
	・ ドランティア連絡会の支援· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
都留市ボ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		6
	。 ウンティアコーディネーター設置事業·····		
災害救援	受ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7
福祉教育	₹推進事業······		8
ボランテ	ーィア活動推進校事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		8
ボランテ	- イア団体助成事業······		8
各種ボラ	・ンティア養成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		9
総合相談	<b>事業·····</b>		9
ふれあい	ヽ・いきいきサロン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		9
いこいの	ひろば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		10
福祉医療	₹健康講座· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		10
老人の幸	€せの里づくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		10
おふくろ	の味・知恵袋交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		11
都留市住	・民参加型有償在宅福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		11

福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者で
<b>の情報交換会</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<b>障がい者スポーツの振興</b>
共同募金配分金事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
障害者社会参加促進事業
奉仕員等(点字奉仕員・手話奉仕員)養成事業・・・・・・・・・・・・15
点字・声の広報など発行事業・・・・・・・・・15
<b>当事者組織の支援の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・</b> 15
在宅福祉推進事業
ふとん丸洗い事業······16
生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
<b>地域ふれあい健康推進事業</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<b>おでかけ元気促進事業</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
福祉バス (みどり号) 運営事業
<b>善意銀行事業</b>
<b>社会福祉基金事業</b>
<b>生活支援体制整備事業</b>
<b>障害者等相談支援事業</b>
特定相談支援•障害児相談支援事業 · · · · · · · · · 21
<b>法人後見事業</b> 22
生活困窮者自立支援事業
<b>地域福祉研究事業</b> 24
都留市老人クラブ連合会事業(事務局)25

# 介護サービス事業

居宅介護支援事業	27
訪問入浴介護事業	27
訪問介護事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	27
介護予防軽度生活支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護)	28
通所介護事業	28
生きがい通所サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
重度障害者訪問入浴事業	28
介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護)	29
自立支援居宅介護事業(居宅介護、行動援護、 同行援護) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
障害者移動支援事業	29
基準該当生活介護事業	30
養育支援訪問事業	30

### 令和6年度事業報告

### I 基本方針

かつて、わが国では、地域の中での助け合い、支え合いの機能が存在していましたが、少子高齢化やデジタル化、グローバル化により、支え合いの基盤が弱まってきています。また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰、異常気象、ジェンダー平等など、様々な社会問題が取り上げられております。

このような中、国では、地域住民や地域の多様な主体が人と人、人と資源が 世代、分野を超えて丸ごとつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きが い、地域を共に創っていく、地域共生社会を目指した改革を進めることを掲げ ました。

都留市社会福祉協議会では、社会・暮らしの変化を踏まえ、地域福祉活動の中核的組織として、地域住民や福祉組織の関係者の協働により、地域生活課題の解決や、誰もが支え合い、安心して暮らし続けていけるまちづくりを目指し、各種事業に取り組んでまいりました。

令和6年度は、これまで当協議会が取り組んできた地域福祉活動の経験と実績を踏まえ、複合化・多様化した地域生活課題への対応に向けて、行政、地域住民やボランティア団体、民生委員・児童委員、社会福祉法人や福祉施設、NPO、企業、さらには福祉分野以外の幅広い関係者と共に、都留市に暮らす私たち誰もが、より暮らしやすくなるような地域社会を住民自身の手で作り上げていくため、各種事業を展開しました。

## 社会福祉事業

### 法人運営事業

理事会・評議員会 位置づけられている。	事業名	事業の具体的内容と目的
	理事会・評議員会	法人運営においては、事業全体の管理や組織の管理を行うための理事

### 事業実績

組織体制 理事 15 名/監事 2 名 評議員 18 名

- 第1回理事会/令和6年4月1日
  - ○副会長及び常務理事の選定の件
  - ○評議員選任・解任委員の選任の件
- 第2回理事会/令和6年6月10日
  - ○令和 5 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件
  - ○役員候補者選任の件
  - ○評議員候補者の選定の件
  - 〇職員就業規則中改正の件
- 第3回理事会/令和6年6月24日
  - ○副会長の選定の件
  - ○評議員選任・解任委員会の委員選定の件
- 第4回理事会/令和7年3月17日
  - ○専決処分の承認を求める件(第1号)(第2号)
  - 〇令和7年度都留市社会福祉協議会事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

- 第1回評議員選任·解任委員会/令和6年6月10日
  - ○評議員の選任の件

.....

- 令和6年度都留市社会福祉協議会定時評議員会/令和6年6月24日
  - 〇令和 5 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算承認の件
  - ○理事の選任の件
- 第2回評議員会/令和7年3月24日
  - ○専決処分の承認を求める件(第1号)
  - 〇令和7年度都留市社会福祉協議会事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

事業名	事業の具体的内容と目的	
「つるの福祉」 発行 ※ (1-1-2)	社会福祉協議会が実施する事業や相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な情報を広く市民に周知することを目的とする。	

社協だより「つるの福祉」を年4回発行

月	内	容
5 月	令和6年度当初予算、社会福祉 福祉大会、赤い羽根共同募金幸 ティア派遣、ボランティア活動 手話奉仕員養成講座、介護事業	F度社協事業計画(社会福祉事業) 比協議会会費のお願い、令和 5 年度社会 股告、善意銀行、総合相談、災害ボラン 助保険、ボランティア活動助成金 美所からのお知らせ、シルバー作品展 せの里づくり各種教室のお知らせ
8月	助会費、令和5年度決算報告、 員の紹介、文大ボランティアひ ジアム、法人後見、障害者差別 お知らせ、生きがい買い物ツフ	社会福祉協議会一般会費・特別会費・賛都留市社会福祉協議会新役員及び評議 ろば、ウェルビーイングアートミュー 団地域相談について、介護事業所からの アー、善意銀行、総合相談、ふれあいい 重旅行、シルバー作品展、健康科学大学
11 月	地地区視察研修、介護支援ボラ 護事業所からのお知らせ、日常	ール、赤い羽根共同募金、職員募集、開 ランティア、善意銀行、心配事相談、介 常生活自立支援事業、フードドライブ、 合者作品展、布団丸洗い事業、福祉バザ
2 月	社会福祉大会、全国社会福祉協い会、介護事業所、ふとん、か 談、ふれあいいきいきサロンダ	福祉医療健康講座、市社会福祉大会、県協議会、東部地域高齢者作品展、おさらいにっこクラブ寄付、善意銀行、総合相 変流会、ボランティア連絡会交流会 ボッシスタントについて、ボランティア助 共同募金、絵手紙特集

事業名	事業の具体的内容と目的
非常災害基金事業	社協の事業の円滑な運営を図るため、非常災害基金を設置する。基金は災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するための財源に充てる。また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てる。
事業展開	

災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するため、また、緊急かつ必要 やむを得ない大規模な事業の経費に充てるための基金事業であり、令和6年度は利息を積み立てた。

※ () 内の数字は、本事業報告書の事業が「地域福祉活動計画」の事業と突合できるように「地域福祉活動計画」で示した下記項目の番号を記載したものであります。

(基本目標 - 取り組み目標 - 各事業)

### 福祉活動推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
社 会 福 祉 大 会 事業 (1-1-9)	本市社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表するとともに、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的とする。 地域福祉に関する講演等を実施する。
市坐中体	

開催日 令和 7 年 2 月 20 日 午後 1 時 30 分

会 場 都の杜うぐいすホール 小ホール

内容 出席者:75名1団体

対象者:顕彰 8名2団体、都留市市長表彰 9名、社協会長表彰14名、1団体

社協会長感謝状 3名、1団体、老人クラブ会長表彰 6名

老人クラブ会長感謝状 1名

テーマ「僕の宝物」 講演

講師 嵯峨根 望 氏(2020東京シッティングバレーボール日本代表)

事業名	事業の具体的内容と目的
歳末たすけあい 事業 (2-8-34)	80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にしてもらうことを目的とする。

### 事業実績

・援護物資を支給

80歳以上の在宅ひとり暮らし高齢者(430世帯)に現金3,000円、寝たきり高齢者(43世帯) にタオル・現金 3,000 円 計 473 世帯

(事業費:共同募金 500,000 円·市補助金 718,000 円·社協負担金 220.382 円)

事業名	事業の具体的内容と目的
地区社協支援事 業 (3-11-56)	地区社協は、住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織です。地区住民や、町内会・自治会、民生委員・児童委員、その他地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。地区社協は、生活上のいろいろな問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めていく活動を支援しそれぞれ地域に根ざした福祉活動の展開を図ることを目的とする。 活動費の助成と、市社協から地区担当職員を配置する。
事業実績	

- ・地区社協へ活動交付金を支給し、福祉活動を推進するため助成 7地区合計 1,707.840円
- ・7地区社協それぞれに市社協の職員を配置し、連携を密に地域福祉活動を推進した。
- ・都留市自治会連合会へ地区社協への協力を要請した。

事業名	事業の具体的内容と目的
民生委員・児童委 員協議会への支 援と助成事業 (3-11-57)	都留市民生委員・児童委員協議会事業の育成を目的とし、助成金を交付する。
<b>車業生结</b>	

- ・都留市民生委員・児童委員協議会へ助成した。(161,334円)
- ・市社協の事業説明及び各種事業実施にあたり調査や協力を要請した。

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉活動計画事業(組織発展・強化計画含む) (3-13-62) (3-13-63) (3-13-64)	地域福祉活動計画は、都留市に暮らす誰もが、より暮らしやすくなるような「地域社会」を住民自身の手で作り上げていくための計画とし、様々な立場の住民の声を聞き、浮かび上がってきた地域社会の課題を解決するために、具体的な行動を起していくことを目的とする。また、市社協を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉ニーズも複雑化・多様化している。このような中、改めて市社協の使命を明確にした上で、市社協の経営理念・経営ビジョンを示し、その実現を計画的に図るため、都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画を推進し、地域福祉活動計画を着実に推進する。

- ・管理会議にて、第3次都留市地域福祉活動計画推進会議を開催(年12回)
- 管理会議にて、第3次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画策定委員会を開催(年1回)
- ・令和6年度理事会時に、事業報告と併せ地域福祉活動計画の進捗について報告(年1回)

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉資金貸付事業 (2-5-18)	1一般貸付 生活困窮世帯に対し、一時的に資金を貸付け、生活意欲の助長と生活の安定を 図ることを目的に 50,000 円以内を貸付する。 2高額医療費貸付(国民健康保険世帯) 高額医療費支給推定額 80%以内で、最高限度額を 300,000 円とする。

### 事業実績

資金の貸付業務・相談業務を実施した。

貸付世帯1件

滞納世帯 1 件 (残額 4,000 円)

	相談件数	貸付件数	貸付額
一般貸付	1 件	0件	0円
高額医療費貸付	0 件	0件	0円

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バザー事業 (3-12-61)	市民の誰もが参加できる社会福祉活動として、市民の方より遊休品の提供を受け実施する。 会場を旧旭小学校体育館に移し、令和6年12月7日・8日・9日の3日間開催した。

### 事業実績

- 1 日目レジ通過人数 264 名、協力者 36 名、職員 13 名
- 2 日目レジ通過人数 135 名、協力者 27 名、職員 12 名
- 3日目レジ通過人数 24名、職員3名

寄付物品数 8,305 点 (昨年9,648点 -1,343点) 売上金額 964,150円 (昨年951,100円 +13,050円)

### ふれあいのまちづくり事業

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアセンター の運営 (1-1-1) (1-1-10)	住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、市民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、都留市ボランティアセンターを開設し運営する。 住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行う。また、ボランティア・市民活動支援機能を強化するため基盤を整備する。

### 事業実績

- ボランティア相談を随時受け付けた。
  - 内容:ボランティア活動全般の相談(参加したい、しりたい等)
- ・ボランティア情報ボード 市内7ヵ所に設置 ・ボランティアグループ・団体実態調査実施 年1回
- ・ボランティア活動保険加入手続き 基本プラン 370 名、天災プラン 14 名 ボランティア行事用保険加入手続き 88件、2,972名
- ・貸館(いきいきプラザ都留内ボランティア活動室、点字音声図書館、相談室4・5) 計280件
- YOUTUBE、インスタグラムを活用した情報発信

- All 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
事業名 事業名 事業の具体的内容と目的
都留市ボランティア連絡会の 支援 (1-1-4) ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動 推進と、地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボラ ティア連絡会の運営を支援する。 都留市ボランティア連絡会の事務局機能を果たし、連絡会の運営を 援する。

#### 事業実績

- ・ボランティア間の連絡、情報交換など円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展を 目的に支援した。
  - (総会:令和6年7月12日 26名参加 理事会:年6回延べ48名参加)
- 活動費の助成 (50,000円)

事業名	事業の具体的内容と目的	
都留市ボランティアまつり (1-1-5)	市民一人ひとりが、ごく自然にボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくり、意識啓発、交流できるイベントを開催し、都留市のボランティア・市民活動の輪をさらに大きくひろげ活動の活性化を図ることを目的とする。 都留市ボランティアまつりを開催する。	

#### 事業実績

・都留市ボランティアまつりに変わる事業実施について検討を行う。

令和7年4月29日に田原交流センターニコットと連携し、こどもまんなかほとりフェスタ内のイ ベントの一部として、社会福祉協議会ブースを設置させていただき、地域福祉、障害福祉をテーマに 地域住民、ボランティア団体、福祉関係者が交流し、互いの理解を深める場づくりを試行的に実施す る。

開催にあたり、年15回の会議に参加した。

事業名	事業の具体的内容と目的
地区ボランティアコーディ ネーター設置事業 (1-1-6)	身近な地域の中で住民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりを進めるとともに、ボランティア活動の現状やニーズ等情報を収集し、円滑なボランティア活動の推進とコーディネート機能の向上を図ることを目的とする。 市内7地区にボランティアコーディネーターを設置する。

- ・市内 7 地区に地区ボランティアコーディネーターを 11 名配置
- ・地区ボランティアコーディネーター連絡会 年9回開催 延べ60人 市内各地区からの情報提供やボランティア活動推進について協議
- ・各種ボランティア事業実施にあたり運営協力

なお、地区ボランティアコーディネーターについては、令和 6 年度をもって一時休止 現在のコーディネーターについては、子ども食堂などの支援を行うボランティアとして継続的活動を 行っていく。

事業名	事業の具体的内容と目的
災害救援ボランティア・福祉 救援ネットワーク活動事業 (1-2-11)	大規模な自然災害が発生した場合に備え、平常時から住民の意識啓発活動、災害ボランティアセンター・福祉救援活動の基盤整備、災害時要援護者の支援体制づくりを目的とする。 都留市災害救援ボランティア連絡会、災害ボランティアコーディネーター研修、青少年災害ボランティアスクール、災害時要援護者支援班活動、防災ネットアマチュア無線クラブ、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行う。

### 事業実績

- 都留市役所総務課危機管理担当と災害時の協力について協議した。
  - ・セーフコミュニティ会議に出席(年1回、参加者15人)
  - ・例年9月に災害ボランティア活動促進を図るため、山梨県立都留興譲館高等学校・谷村地域協働の まちづくり推進会と協働して高校生災害ボランティアスクールを開催。

実施日:9月20日(講演1回、参加者500名、実技1回139名)

- ・都留市災害ボランティアセンター運営検討委員会については、近年の活動内容等を精査する中で、より良い組織体制を構築する為、現在の委員会を廃止し、新たな体制を検討する。
- ・都留市アマチュア無線クラブ総会に参加

実施日:4月3日(参加者10名)

事業名	事業の具体的内容と目的	
福祉教育推進事業 (1-3-12)	児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ることを目的とする。 福祉のこころ醸成事業、学校からの相談援助業務を行う。	
事業実績		

- ・学校からの相談援助 年30回
- 都留市児童生徒連絡協議会活動支援 通年

事業名	事業の具体的内容と目的	
ボランティア活動推進校事業 (1-3-13)	市内小学校及び中学校の児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的とする。 市内の小・中・高等学校11校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付し活動を支援するとともに、相談援助業務を行う。	
事業実績		
	今村第二小学校 4 年生 19 名 盲導犬の理解 講師 菊島巧氏	
・令和 6 年 11 月 1 日	今村第二小学校4年生19名 聴覚障がいの理解 講師 宮下文元氏	

・令和6年11月8日 禾生第二小学校4年生20名 車いすバスケットボール

講師 和智氏 筒井氏

・令和6年11月12日 禾生第一小学校4年生49名 点字の理解 講師 小宮美砂子氏

・令和6年11月14日 禾生第一小学校4年生49名 手話の理解 講師 関根ふじゑ氏

・令和6年11月14日 谷村第二小学校4年生19名 デフリンピック卓球日本代表のお話 講師 亀澤氏

- 令和 6 年 11 月 29 日 谷村第一小学校 4 年生 56 名 白杖体験

講師 山梨ライトハウス 金山氏

・その他、市外3校(山中小学校、鳴沢村小学校、猿橋小学校)に福祉講和講師の紹介を行った。

事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア団体助成事業 (1-1-7)	地域の中で自主的に活動しているボランティア団体・グループが、活動を継続し、さらに発展していけるよう、支援することを目的とする。 1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付する。
<b>車業史</b> 结	

団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付した。

- 1 こぐまクラブ
- 3 おもちゃ病院「ムササビ」
- 5 都留市防災ネットアマチュア無線クラブ
- 「歌声のつどい」ボランティア
- 9 手話サークル千羽会
- 11 都留市読み聞かせボランティアこぶたの会 12 つるっ子プロジェクト
- 2 都留市ボランティア連絡会
- 4 あすなろ学習会
- 6 ボランティアサークルひびきの会
- 8 手話&ステップニュークレイン
- 10 コーヒーボランティアカフェキャマラード

計 12 団体へ助成 合計 600,000 円

事業名	事業の具体的内容と目的
各種ボランティア養成事業 (1-1-3)	ボランティアニーズ・活動経験・参加意欲・年代に応じた各種講座を 開催しボランティア活動を活性化することを目的とする。 ボランティア入門講座、青少年のボランティア体験、ボランティア講 習会経験者編、在宅福祉ボランティア講座、中学生のボランティア体験 学習など地域課題に即したプログラムで開催する。

- ・つるラグビースクールと連携し、ゴミ拾い活動を行った。
- 11月10日 参加者 30名
- ・都留文科大学生とゴミ拾い活動を行った。
  - 5月16日、6月27日、11月14日 延べ3回、82名参加
- ・点字奉仕員、朗読奉仕員、声の広報についての養成講座の検討を行ったが、講師等との調整が 出来なかったため、令和7年度以降に養成講座開催に向けた再検討を行うこととなった。

事業名	事業の具体的内容と目的
総合相談事業 (2-5-15)	住民の暮らしの中の各種福祉相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な支援や助言を行い、課題解決に向けた取り組みを行う。また、司法書士による暮らしの中の身近な法律相談を行う。

### 事業実績

・司法書士による相談会

相談日時:毎月第1・第3金曜日 13時~16時

福祉の相談会

相談日時:毎月第1·第3水曜日 13時30分~15時30分

相談員 : 社協職員

種類	開催日	開催日数	相談件数
司法書士による相談会	月2回(金)	24 回	39 件
福祉の相談会	月2回(水)	24 回	1件

事業名	事業の具体的内容と目的	
ふれあい・いきいきサロン (2-8-27)	在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げるとともに、皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。 身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する。	
alla alla		

### 事業実績

身近な地域を拠点に、ふれあい交流活動(レクリエーション等)、麻雀、健康づくり(健康チェック、 相談、ストレッチ体操等)、趣味・文化活動(手芸、折紙、歌等)を実施した。

- ふれあい・いきいきサロン活動
  - 市内 29 か所 実施回数 389 回 延べ参加者 5,733 名
- ・ふれあい・いきいきサロン交流会 3月28日 参加者27名 都留市福祉保健部長寿介護課 保健師による健康に関する情報提供 武蔵野大学人間学部社会福祉学科 渡辺裕一教授の講演 テーマ「今、ふれあい・いきいきサロンが必要な理由」
- ・ふれあい・いきいきサロン補助金交付要綱見直しについて検討し、令和7年度に補助金の増額を行うこととなった。

事業名	事業の具体的内容と目的		
いこいのひろば (2-9-48)	障がいの有無に関係なく、地域の方々、障がいのある方々、学生が一体となり誰もが充実して楽しく過ごせるような地域づくりを目的とする。 いこいのひろばを定期的に開催する。		
4114 4114			

例年、地域の人々、障がいのある人々、学生などが一体となり、誰もが充実して楽しく過ごせるよう、 様々なクラブ活動やレクリエーション活動を行なった。

今後、会場を都留文科大学に移行する 3 回開催:6・10・11 月 計57名参加

事業名	事業の具体的内容と目的	
福祉医療健康講座 (2-8-29)	都留医師会、都留 CATV、山梨大学と協働し、「福祉・医療・健康」について市民と医師のディスカッション形式の対話集会を開催し、地域社会に対する福祉・医療の啓蒙・啓発活動に努めると共に、住民の病気予防活動につなげることを目的とする。	

### 事業実績

10月27日 都留文科大学6号館(THMC)3階 32名参加

テーマ 人生 100 年時代をよりよく生きるための、眼と皮膚とアレルギーのはなし

演題① 「人生 100 年時代、斜視・屈折異常の年齢別の疾病について」

講師:山梨大学医学部 眼科学講座 臨床助教 岡部 夏樹

演題② 「皮膚とアレルギーの話」

講師:山梨大学医学部 皮膚科学講座 講師 三井 広

事業名        事業の具体的内容と目的				
老人の幸せの里づくり事業 (2-8-30)	高齢者の生きがいづくりとして、各教室(民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋・能楽)を開催し、介護予防や引きこもり防止につなけることを目的とする。 また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。			
1 1 A.L.				

#### 事業実績

- ・ふるさと祭りおさらい会を実施 令和7年3月15日 参加者 84名
- ・高齢者の生きがいづくり・社会参加のため、各教室を自主的に実施した。

		教室	名	開催数	延べ参加者数
民	謡	教	室	21 回	198 名
囲	碁	教	室	24 回	304 名
将	棋	教	室	22 回	69 名
舞	踊	教	室	19 回	124 名
大正	E琴	教	室	6 回	32 名
歌	謡	教	室	11 回	156 名
詩	吟	教	室	15 回	82 名
能	楽	教	室	24 回	132 名
				=L 140 (=)	=1 1 007 &

計 142 回 計 1,097 名

高齢者のもつ様々な知識や技術を地域福祉活動に活かし高齢者の生きがいづくりボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあいそれぞれの日常生活を豊かなものにすることを目的とする。おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設ける。	事業名	事業の具体的内容と目的
	会	がいづくりボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあいそれぞれの日常生活を豊かなものにすることを目的とする。 おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設

事業の見直しを図るため、未実施。

事業名	事業の具体的内容と目的	
都留市住民参加型有償在宅 福祉サービス事業 (2-7-25)	日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合い、誰もが自立した、より豊かな生活が送れるよう、住民が、支え合いの精神に基づいた主体的な参加と協力により、よりきめ細やかな福祉サービスを展開することを目的とする。 住民参加型有償在宅福祉サービス「ささえあい・ホットサービス都留」を展開する。サービスを提供する有償ボランティア養成講座を開催し円滑に事業を展開する。	
<b>本 ** 中</b> 体		

#### 事業実績

おおむね 65 歳以上の高齢者またはその家族、障がい(児)者またはその家族、子育て中の家庭、ケガや病気等で一時的に生活に支障をきたしている方を対象に食事の援助、衣類の洗濯・補修、日常的な住居等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、手紙等の代筆、朗読、話し相手、見守り、医療機関等との連絡、受診時の付添い、薬の受取り・服薬確認、簡単な身の回りの援助、外出介助(散歩、買い物付添、通院の付添等)、大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し、庭の草取り、庭木の剪定、子育て支援(家事援助)等、在宅福祉に必要なサービスを展開する。

有償在宅福祉サービス ささえあい・ホットサービス都留

〇利用者会員数: 6名 〇協力会員数: 7名

生活支援ニーズと支援できる人とのマッチング草取り、掃除、ゴミ出し等の生活支援 87回

支援内容	回数
日常的な住居等の清掃、整理整頓	5
大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し	74
庭の草取り、庭木の剪定	7
生活必需品の買物	1
合計	87

# 福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・ 情報交換会

事業名	事業の具体的内容と目的	
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・情報交換会(3-10-55)	保健福祉センターいきいきプラザ都留の中にある、福祉課、長寿介護課、健康子育て課、社会福祉協議会の四者で情報交換・意見交換を行い、各々の使命・役割・事業内容を共有化し、市民にわかりやすく市の保健・福祉・介護・子育て関係の情報を提供するとともに、市民からの問い合わせや相談対応に関して、適材適所に結び付けるよう四者で連携することを目的とする。	
事業実績		

福祉課、長寿介護課、健康子育て課と随時情報交換や会議を行った。

### 障がい者スポーツの振興

事業名	事業の具体的内容と目的	
障がい者スポーツの振興 (2-9-47)	障がい者団体・障がい者施設・デイケアなどとネットワークをつくり、 障がい者同士の交流と地域住民の交流の場としてスポーツ交流会を開催 し、スポーツの楽しさを通じて親交を深めるとともに相互理解を深め、 共に生きる地域社会づくりをすすめることを目的とする。 グランドゴルフ交流会を開催する。	
事業実績		

日時 令和6年11月23日 午前9時~11時30分

場所 玉川グラウンド

参加者 計65名

都留市身体障害者福祉会 15 名、グラウンドゴルフ協会 13 名、みとおし 12 名、回生堂病院デイケア 4 名、むつみの家 9 名、視覚障害者協会都留支部 5 名、手話サークル千羽会 5 名、社協 2 名

### 共同募金配分金事業

事業名	事業の具体的内容と目的		
共同募金配分金事業 (2-6-21) (3-12-58)	善意による住民の募金の配分金を効率的に利用し、社会福祉事業に役立てることを目的とする。		
	事業実績		

- (1) 赤い羽根共同募金運動
  - 令和 6 年 10 月 1 日~令和 7 年 3 月 31 日
  - 戸別募金、職場募金、大口募金とともに、歳末たすけあい運動を実施 ・ 令和 6 年 10 月 1 日 計 12 か所で街頭募金を実施。 総合計 4, 272, 522 円
- (2) 地域社会福祉事業
  - 市社協広報誌「つるの福祉」発行事業(437,000円)
  - 社会福祉大会事業(54,000円)
- (3) 安心安全なまちづくり支援事業
  - ・災害ボランティアセンター事業(91,143円)
- (4) 市町村社会福祉協議会地域福祉活動事務費
  - ・ボランティア推進校事業(113,758円)
- (5) 小地域福祉活動事業
  - ・ ふれあい広場遊具補修事業 (実施せず)
- (6) 地域福祉活動団体推進事業
  - ・老人ゲートボール大会事業(実施せず)
  - ・障害者ふれあいスポーツ交流会事業(25,000円)
  - 都留市ボランティアまつり事業(実施せず)
- (7) 歳末たすけあい事業
  - 歳末義援金贈呈事業(500,000円)
- ※()内は決算額

### 福祉サービス利用援助事業

事業名	事業の具体的内容と目的			
福祉サービス利用援助事業 (2-5-16)	都留・道志地区地域福祉権利擁護センター(都留市・道志村)の基幹 社協として、道志村社会福祉協議会と連携し、様々なサービスを適切に 利用することが困難な方(認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者) を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の 預かりサービスを実施し、できるだけ自立して生活が送れるよう支援す ることを目的とする。			
+ # + #				

#### 事業実績

担当地区日常生活自立支援事業実施状況(令和6年4月1日~令和7年3月末)

- ・問合せ・相談件数: 802件
  - (認知 241 件、知的 258 件、精神 184 件、その他 19 件)
- •契約締結件数:7名(認知症3名、知的1名、精神3名、)
- ·契約終了件数:2名(認知症 1名、精神1名)

実利用者数 29名(令和7年3月末)

- ・都留市 25名 道志村 4名
- 日常生活自立支援事業の広報・周知
  - ・各協力社協より相談内容や件数を定期的に聴取
- ・協力社協を訪問・電話連絡・パンフレットを送付することにより日常生活自立支援事業を周知 日常生活自立支援事業の契約
  - ・利用者の自宅等を訪問し、調査・契約・支援計画・預かり書を作成

基幹的社会福祉協議会連絡会議への出席

専門員による各市町村協力社協への訪問、記録チェックケース記録、通帳コピー等との照合契約終了に伴なう手続き

法人後見等運営委員会において、日常生活自立支援事業の実施状況について報告、協議を行った。

### 障害者社会参加促進事業

事業名	事業の具体的内容と目的	
奉仕員等(点訳字 奉仕員·手話奉仕 員·朗読奉仕員) 養成事業 (2-9-44)	障がい者にとって最も身近な市町村において、ノーマライゼーション(障がいのある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり)の理念の実現に向けて、コミュニケーション支援、情報支援など障がい者の需要に応じた事業を実施することにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。 手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講習会を開催する。	
+ 44 d-7 d-1		

### 事業実績

#### 点字奉仕員養成事業

・点字奉仕員養成講習会(フォローアップ)を会員の状況から当面(数年)活動を控えることにし ていたこと等の影響で開催できなかった。

### 手話奉仕員養成事業

・手話奉仕員養成講習会(入門・基礎)を開催 (年39回開催、養成人員16名修了人数16名)

事業名	事業の具体的内容と目的	
点字・声の広報な ど発行事業 (2-9-45)	視覚障がい者にとって住みやすい地域とは、全盲や高齢化に伴う弱視といった 視覚障がい者について正しい理解がすすみ、地域の情報や制度が適切に得られる ことである。地域の様々な情報を点訳・音声訳朗読などで視覚障がい者にわかり やすく情報を届ける情報支援を行うことを目的とする。 広報つる、議会だより、つるの福祉、生活情報、行政情報を点字や声の広報に してお届けする。	
古坐中结		

#### **事業実績**

### 音声訳広報

- 広報つる (年 12 回発行)
- ・議会だより(年4回発行5月、8月、11月、2月)
- つるの福祉(年4回発行5月、8月、11月、2月)

#### 点訳広報

·生活情報(年6回実施)、行政関係資料(年7回実施)

事業名	事業の具体的内容と目的
当事者組織の支援の実施 (2-6-23) (2-9-46)	ひきこもりや不登校の子を持つ親と本人が、社会から孤立することを防ぎ、お 互いに悩みを分かち合い、共有し、連携することで相互に支えあい、地域で安心 して生活できるよう当事者組織等の活動を支援する。 会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生 きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障がい者の当事者組織を 支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。
	事業実績

ありがとう花束の会(ひきこもりや不登校の方々との家族の会)の活動を支援した。年 12 回 会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と 社会参加をめざして活動を行う視覚障がい者の当事者組織を支援することを目的とする。

山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。

## 在宅福祉推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
ふとん丸洗い事	在宅のねたきり老人世帯等に対し、ふとん丸洗い事業を実施することにより、
業 (2-8-31)	健康で衛生的な在宅福祉の増進を図ることを目的とする。

### 事業実績

健康で衛生的な在宅福祉増進のため、在宅の老人世帯等に対し年3回ふとん丸洗いを実施した。

	8月18日~	12月8日~	3月2日~	合計
	8月25日	12月18日	3月12日	
実人数	21	19	15	55 名
枚数	38	35	25	98 枚
リース利用件数	0	0	0	0件

事業名	事業の具体的内容と目的	
生活福祉資金貸付事業 (2-5-17)	低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策として実施されてきた緊急小口資金等の特例貸付の償還が令和5年1月より開始されたことに伴い、県社協の窓口として償還に関する相談支援業務を行う。	
<b>市业中</b> 体		

### 生活福祉資金相談件数

	延相談件数	貸付件数	貸付額
件数	32 件	1件	300, 000 円

山梨県社会福祉協議会が実施した緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付に係る相談支援 業務

相談支援実績	延相談件数	男性	女性
特例貸付	38 件	6 件	4 件

### 主な相談内容

相談内容	人数
特例貸付の償還	1
特例貸付の免除	5
貸付制度にかかわらない困りごと	0
資金制度や申請に関する問い合わせ	5
合計	11

## 地域ふれあい健康推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的		
地域ふれあい健 康推進事業 (2-8-36)	都留市内の7地区(谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、 禾生地区、盛里地区)において、地域住民主体による介護予防活動の展開 を図ることを目的とする。 地域ふれあい健康事業を行う。		
<b>***</b>			

### 事業実績

都留市内5地区において、地区社会福祉協議会や協働のまちづくり推進会と連携し介護予防事業を開催した。

地区	事業	内容	人数	実施日	助成額
三吉地区	グラウンド	世代間交流をかねて実施	45 名	11/30	126, 140 円
社会福祉	ゴルフ教室				
協議会					
東桂地区	第 21 回まち	健康運動指導士による健康体操を実	1,000名	11/10	198, 100 円
社会福祉	づくり文化	施するとともに、健康グッズを配り、		~	
協議会	祭・東桂	使用法の指導を受ける。		11/11	
宝地域協	ふれあい事	チェアエクササイズや口腔ケア、血	30 名	11/9	163, 569 円
働のまち	業	液サラサラチェック等を開催			
づくり推					
進会					
禾生地区	ふれあい福	高齢者の外出の機会を創出し、参加	100 名	10/27	200, 000 円
社会福祉	祉集会	者同士の交流を行う。			
協議会		イベントボランティアなどによる催			
		しを実施			
	ふれあい福	健康で安心して暮らしていけるよう	24 名	3/27	0円
	祉集会	集会を実施			
		災害の話や健康体操を行った。			
盛里地域	都留市地域	口腔ケアや健康講話、詩吟、与縄出	111 名	11/10	190, 942 円
協働のま	ふれあい健	身のヴァイオリニストなどによる演			
ちづくり	康事業	奏。都留文科大学生による落語やマ			
推進会		ンドリンの演奏、合唱などを行った。			

### おでかけ元気促進事業

事業名	事業の具体的内容と目的			
おでかけ元気促 進事業 (2-8-28)	早期の介護予防活動の推進と互恵共生社会の促進を図るため、自治会等(団体)が自主的・主体的に実施する、ふれあいいきいきサロンに対して、物品購入等サロンの整備を行うことを目的とする。 1 団体 10 万円を上限とする。			
事業実績				

事業対象者は、サロンを年12回以上実施する団体(自治会等)。

- 1 ゆいまーる都留における 健康麻雀すずめっ子クラブの設立支援を行った。 活動物品購入費として 金 72,682円を助成した。(雀卓などの購入) 実績は、44回、280名
- 2 禾生地区における新規サロン設立に伴う相談を受け付けた。

### 福祉バス(みどり号)運営事業

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バス(みどり 号) 運営事業 (1-1-8)	老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体など(福祉バス使用規程)の社会福 祉活動の利便をはかることを目的とし、福祉バスを運行する。
	事業実績

福祉バス(みどり号)の運行

- ・単位老人クラブの送迎 年143回
- 各種福祉団体の送迎 年 11 回

### 善意銀行事業

事業名	事業の具体的内容と目的
善意銀行事業 (2-6-22) (3-12-59)	都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。 善意銀行の業務を行う。
	古坐中体

#### **事業実績**

### 物品預託

- ・物品::188件 プルタブ・ペットボトルキャップ・使用済み切手等
- ・社協だより(つるの福祉)へ随時掲載

金品払出、物品払出 - 寄付金: 530, 988 円

- ・子ども食堂へ 40,000 円を払い出し
- ・物品:米(37件195Kg)、タオル等

### 社会福祉基金事業

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉基金事業 (3-12-60)	個人及び企業・団体等から受ける寄付金を積み立て、都留市の社会福祉事業の 推進を図ることを目的とする。
	事業実績

福祉バザー売り上げ一部 278. 156 円、善意銀行寄付金 33. 575 円の合計 311. 731 円を積立

### 生活支援体制整備事業

事業名	事業の具体的内容と目的
生活支援体制整備事業 (2-8-37)	日常生活上を送る上で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援サービスの提供体制を構築するため、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)及び就労的活動支援コーディネーター(就労的活動支援員)を配置し、市全域の生活支援サービスの開発や普及、さらに基盤整備を推進する第1層生活支援コーディネーターと連携を図りながら、市全域における支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、生活支援サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を一体的に図ることを目的とする。

#### 事業実績

- 生活支援サービスのコーディネート等に関する業務(詳細は各事業参照) 1 地域福祉研究事業(生きがい買い物ツアーモデル事業)を実施し、開地地区社協と連携した 事業を実施
  - 通いの場支援会議(長寿介護課、社協) 年 11 回
  - 開地地区定例会参加 年 11 回
    - 実態把握、見守り方法について検討、開地あいかふぇ実施に向けた協議
  - 有償在宅福祉サービス ささえあい・ホットサービス都留にて、生活支援ニーズのマッチン
  - ふとん丸洗い事業を通した地域の実態把握 5
  - 善意銀行事業による食料支援でお米の払い出しを行った。 6
  - ふれあい・いきいきサロン活動の支援を行い、身近な地域におけるサロン活動の推進
  - つるラグビースクールや都留文科大学生とのゴミ拾い活動を行い、地域活性化を図る。 8
  - 第17回高校生災害ボランティアスクールを開催 谷村地域協働のまちづくり推進会、都留興譲館高等学校等と連携
  - 第42回都留市社会福祉大会において、障害福祉に関する講演会を開催
  - 第29回福祉医療健康講座を開催
  - 12 歳末たすけあい事業を実施。市内の高齢者の実態把握を行う。
  - 13 都留市ボランティア連絡会の支援を行い、生きがいづくりに繋がるボランティア活動の推進
  - を支援。交流会等を行った。 老人の幸せの里事業による高齢者の生きがいづくり支援を行い、高齢者の生きがいづくりを

### 協議体設置に関する業務

協議体活動の支援

- 地域の生活課題の共有・解決方法について協議 開地地区第2層協議体(買い物弱者対策支援)
- 2 地域ふれあい健康事業を通した健康増進支援(協働のまちづくり支援含む) 三吉地区第2層協議体(多世代交流を兼ねてグラウンドゴルフ教室を開催) 東桂地区第2層協議体(文化祭において健康指導士による体操等)

禾生地区第2層協議体(ふれあい福祉集会 2回開催)

サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務

1 介護支援ボランティア 新規登録 5名 登録者計 107名

## 障害者等相談支援事業

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者等相談支援事業 (2-9-49)	障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整その他の障がい者等の権利擁護のために必要な援助(相談支援事業)を行うことを目的とする。

### 事業展開

### 相談支援を利用している障がい者等の人数

	実人員	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	その他
	(重複有り)							
障がい者	17	2	0	4	11	0	0	0
障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	2	0	4	11	0	0	0

### 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メー	個別支援	関係機関	その他	計
					ル	会議			
件数	110	29	49	154	0	20	141	2	505

### 支援内容

福祉サービ	障がいや病状	健康・医療に	不安の解消・	保育・教育に	家族関係・人	家計・経済に
スの利用等	の理解に関す	関する支援	情緒安定に関	関する支援	間関係に関す	関する支援
に関する支	る支援		する支援		る支援	
援						
52	122	125	105	2	14	56
0	0	0	0	0	0	0
	スの利用等に関する支援	スの利用等 の理解に関す に関する支 る支援 援	スの利用等       の理解に関す       関する支援         に関する支援       る支援	スの利用等       の理解に関す       関する支援       情緒安定に関する支援         に関する支       る支援       する支援	スの利用等       の理解に関す       関する支援       情緒安定に関 関する支援         に関する支       る支援       する支援         援       まる支援	スの利用等       の理解に関す       関する支援       情緒安定に関 する支援       関する支援         に関する支援       する支援

	生活技術に関	就労に関する	社会参加・余	権利擁護に関	その他	計
	する支援	支援	暇活動に関す	する支援		
			る支援			
件数	75	17	9	5	27	609
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0

# 特定相談支援・障害者相談支援事業

事業名	事業の具体的内容と目的
特定相談支援・	社会資源や福祉サービスなどを活用し、障がいのある方が自立した日常生活又は
障害児相談支援	社会生活を営むことができるように支援する事を目的とする。
事業	障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)について、サービス等利用計画
(2-9-50)	の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行
	う。

### 事業実績

### 相談支援を利用している障がい者等の人数

	実人員	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障	その他	
	(重複有り)						がい		
障がい者	27	4	0	5	21	0	0		3
障がい児	6	0	0	4	0	0	0		2
計	37	4	0	7	21	0	0		5

### 支援内容(回)

- 10071 - H			
	サービス利用支援	継続サービス利用支援	その他
障がい者	22	50	19
障がい児	9	7	7
計	31	57	28

### 計画相談支援給付費(円)

障がい者	941, 760
障がい児	138, 510
計	1, 080, 270

### 令和6年度推移(人)

	新規利用	支援終了
障がい者	6	8
障がい児	2	0
計	8	8

### 研修等

### 法人後見事業

事業名	事業の具体的内容と目的
法人後見事業 (2-5-20)	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人(以下「成年後見人等」という。)となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人、(以下「成年被後見人等」という。)の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを目的とする。

### 事業展開

### 法人後見等運営委員会の開催

・委員委嘱状交付式及び第1回運営委員会/令和6年8月19日 令和5年度事業報告 日常生活自立支援事業について 法人後見事業について

### 受任件数 1件(成年後見人)

・被成年後見人死亡により、7月9日後見等終了報告書を甲府地方裁判所都留支部に提出

### 広報·周知活動

・つるの福祉に記事掲載 年1回

### 関係者との連携会議

- ・地域連携ネットワーク会議に参加 年2回
- ・中核機関との打合せ 年3回
- ・令和6年度家事関係機関との連絡協議会 年1回

関係者が実施するアンケート調査に協力 年2回

#### 相談援助業務

•相談件数 年5件

#### 先進地視察研修

・後見センターふえふき視察 年1回

### 生活困窮者自立支援事業

事業名	事業の具体的内容と目的			
生活困窮者自立支援事業 (2-5-19)	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者が、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行うことを目的とする。			
事業展開				

### (1) 自立相談支援

生活や仕事に対する心配や悩みを抱えている人に対して、地域において自立 した生活が行えるように無料で相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応 する。また、食料支援などを行った。

### (2) 一時生活支援 支援なし

### (3) 住宅支援給付業務

離職や廃業またはやむを得ない休業により収入が減少し、住宅の事で困っている人に対して住宅確保給付金を支給する業務であり、相談はあったものの対象外であった。

### 総括表

	4 月	5月	6月	7 月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数 (本人未特定を含 む)	4	3	5	4	4	9	3	6	6	5	1	3	53
①評価実施件数中就 労支援対象プラン作 成者分	0	2	1	0	2	0	1	1	1	0	1	0	9
う 一般就労開始	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	6

### 地域福祉研究事業

事業名	事業の具体的内容と目的			
地域福祉研究事業 (2-7-26)	地域社会における今日的課題に対する調査研究や先駆的・試行的取組等を通じて、新たなサービスを開発し、地域福祉の向上を図ることを目的とする。			
<b>重業</b> 生結				

### 〇買い物支援についての調査研究

買い物弱者と呼ばれる高齢者に焦点を当て、日常生活を営む上で最低限必要な買い物のための移動 手段をどの様に提供することが可能か、また、そのコストと支援がどの程度必要になるのか「生きが い買い物ツアーモデル事業」と称した実証実験を地区民生委員・児童委員協議会の協力を得て実施 (生きがい買い物ツアーモデル事業内容)

### 【対象者】

開地地区にお住まいの、6 5歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及び障がいをお持ちの方、かつ店舗内外の移動と金銭管理が自身で可能な方で、以下のいずれかに該当する方

- (1) 生活必需品の買い物に支障をきたしている方
- (2) 免許の返納を考えている方
- (3) 将来的に生活必需品の買い物に不安を感じている方
- (4) その他会長が認めた方

#### 【実施期間】

令和6年4月から10月まで

#### 【実施日】

毎月1回 第2月曜日(祝日の場合は第3月曜日)

### 【実施時間】

10 時~13 時

#### 【買い物場所】

市内のスーパー、ドラックストア等

### 【参加費】

無料

#### 【参加者数】

延べ回数 7回 延べ参加者数 31名

	4 月	5月	6 月	7月	8月	9月	10 月	延べ参加者数
参加者数	5	4	5	3	3	5	6	31

なお、標記 地域福祉研究事業については、令和6年度をもって終了。

今後、開地地区では、買い物ツアー交流会や買い物ツアーに変わる通いの場づくりについて協議を進めていく。

### 都留市老人クラブ連合会事業

事業名	事業の具体的内容と目的			
都留市老人クラ ブ連合会事業(事 務局) (2-8-35)	高齢者の生きがい活動、健康づくり活動、仲間づくりなど、多彩な活動を進める老人クラブ活動を事務局として支援し、高齢者が中心となって地域で支えあう 基盤づくりを進め、安心して暮らせるまちづくりをつくることを目的とする。			
事業実績				

- 1 組織の活発な運営と連絡調整
  - (1) 連合会の活動推進

都留市老人クラブ連合会の事業活動の合理的運営を図るため、各種会議を開催した。 理事会年3回、定期総年1回、会長会議年1回、幹部会議年1回

(2) 老人クラブの育成指導

県老連主催の第6回市町村老連活動発表会に参加した。年1回 参加者23名令和6年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会に参加した。 年1回 参加者2名

(3) 女性委員会の活動推進

女性委員会の開催 年1回 参加者 15名 県老連主催のリーダー研修会に参加した。年1回 参加者 23名

- 2 老人クラブ活動広報啓発の推進
  - (1) 都留市老人クラブ連合会愛称の活用 愛称「つる笑輪会」を活用して、積極的に老人クラブのPR活動を行った。
  - (2) 会員の増強運動 都留市老人クラブ連合会の各種会議の折に、会員増強運動について呼びかけを行った。
  - (3) つるの福祉へ記事掲載

都留市老人クラブ連合会の諸事業について、社協だより「つるの福祉」に随時情報を掲載した。 年4回

- 3 社会奉仕活動事業
  - (1)「全国一斉社会奉仕の日」

環境美化運動の日(9月20日)を中心に、各単位老人クラブにおいて、神社や道路、公民館等の清掃活動等を実施した。実施クラブ11クラブ 参加者 延べ227名

(2) 清掃奉仕活動

各単位老人クラブにおいて、年間を通して、地区内各所の清掃奉仕活動を実施した。 実施クラブ 27 クラブ 参加者 延べ 1,482 名

(3) 花いっぱい運動

各単位老人クラブにおいて、花いっぱい運動を実施した。 実施クラブ 10 クラブ 参加者 延べ 168 名

(4) 一円玉募金運動

連合会の特別な事業に備え、昨年に引き続き一円玉募金運動を実施しました。 <収入> 単位老人クラブ等募金額 49,959 円 預金利子 794 円 合計 50,753 円

(5) 友愛訪問活動事業

市内の一人暮らしで虚弱な高齢者を対象に、単位老人クラブごとに訪問、安否確認や話し相手になるなど、友愛訪問活動を実施した。

(6) 共同募金運動へ協力

街頭募金に協力した。年1回 参加者1名

#### 4 福祉活動推進事業

- (1) 第63回山梨県老人福祉大会へ参加 山梨県老連会長表彰1名1団体 退任役職員感謝状1名
- (2) 第 43 回都留市社会福祉大会へ参加 市長表彰 2 名 市社協会長表彰 3 名 市老連会長表彰 6 名 市老連感謝状 1 名

### 5 文化·教養活動事業

(1) 市老連旅行

旅行期日 令和6年10月16日・17日 参加者73名(バス2台)

コース 群馬「ハッ場ダム」と名湯「草津温泉」

(2) 令和6年度東部地域高齢者作品展の開催

令和7年2月5日から7日に、令和6年度東部地域高齢者作品展(会場:都留市まちづくり交流センター)を運営当番老連として開催した。

出展数 110 点 出展者数 96 名 入場者数延べ 136 名

また、前年度(令和5年度)優秀作品4点は、令和6年6月14日から16日に開催された山梨県シルバー作品展に出展され、2名が入賞した。

(3) シニアの素敵なものづくり教室の開催 つまみ細工で素敵なティッシュケースづくり 年 1 回 参加者 11 名

#### 6 芸能・趣味活動事業

(1) 老人のしあわせの里づくり事業(市社協事業)

高齢者の生きがいづくり、社会参加のため、8 教室(民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・大正琴・歌謡・能楽)が自主的に実施された。年 142 回 参加者 延べ 1,097 名

(2) ふるさと祭りおさらい会の開催

令和7年3月12日 参加者106名(出演者65名、来賓3名、観覧者38名)

#### 7 健康づくり活動の増進

- (1) 第 17 回グラウンド・ゴルフ大会へ参加した。 令和 6 年 11 月 27 日 参加者 3 チーム 18 名
- (2) 令和6年度健康づくりリーダー研修会へ参加した。 年2回 参加者延べ14名

### 介護サービス事業

事業名	事業の具体的内容と目的
居宅介護支援事 業(介護保険事 業・介護予防事	目 的:要介護、要支援状態等にある利用者に対し、適正な居宅介護支援を提供する事を目的とする。 事業内容:利用者が、要介護状態等にあっても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、
業・認定調査) (2-8-38)	利用者の選択に基づさ、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、 多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な 居宅介護支援を行う。 新しい社会資源開発に向けて地域ニーズ、実態把握を目的とし地域に
	ボース、実態化権を目的とし地域に ニーズをキャッチし地域の生活課題として提起を行う。

### 事業実績

(1) 利用者が可能な限り、その居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう、適切な居宅 サービスや施設サービスが利用できるようにケアプランを作成した。

・延べ利用人数 1,350名・月平均ケアプラン作成件数 112.5件・ケアマネ1人当り件数 37.5件

(2) 認定調査の実施 15件

(3) 居宅介護支援事業所連絡会・介護サービス事業所合同学習会へ出席し、市内の他事業所や行政と連携・連絡を密にするほか事業所内での事例検討会を開催、各種研修会等に参加した。

事業名	事業の具体的内容と目的		
訪問入浴介護事業 (2-8-39)	自宅へ訪問し、要介護状態にある利用者に対し、入浴介護を提供する。		
<b>東娄史</b> 線			

利用者が自宅で、安心してゆっくりと入浴ができるように援助を行った。

・延べ利用人数 : 291 名・月平均利用数 : 24.25 件

事業名	事業の具体的内容と目的
訪問介護事業	要介護者、要支援者等を対象に、在宅での自立支援の為に、身体介護及び生活
(2-8-40)	支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図る事を目的とする。

### 事業実績

要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図った。

・延べ利用人数 : 4,618 名

・延べ訪問時間 : 3,480 時間 42 分

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防軽度生 活支援事業 (2-8-32)	65歳以上の独居虚弱高齢者及び虚弱高齢者の世帯を対象に介護認定に関わらず、 軽易な日常生活上の援助を行い、自立を支援する事を目的とする。
事業実績	

### 利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生	
活支援総合事業	身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図ること
(訪問介護)	を目的とする。
(2-8-41)	
<b>声类</b>	

・延べ利用人数 : 142名・延べ訪問時間 : 142時間

事業名	事業の具体的内容と目的
通所介護事業 (2-8-42)	要介護者、要支援者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことを目的とする。 送迎、バイタルチェック、入浴支援、昼食の提供、体操、レクリエーション、作業療法、外出行事、保育所・幼稚園・小中高大学生やボランティア団体と交流の機会を設け、地域住民との関わりを持ちながらサービスを行う。 ・介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)

### 事業実績

要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うなど適切なサービスを提供した。

・営業日 308 日 ・延べ利用人数 7,180 名 ・1日平均 23.3 名

事業名	事業の具体的内容と目的
生きがい通所	介護保険の認定で、"非該当"と認定された方を対象に、生きがいと社会参加を促
サービス事業	進し、要介護状態になることを防ぐため、デイサービスを提供する。
(2-8-33)	
事業実績	

### 利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的
重度障害者訪問	地域における身体障がい者の生活を支援する為、居宅において入浴する事が困難
入浴事業	な身体障がい者に対しての入浴サービスを提供する。
(2-9-51)	
事業実績	

### 利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常 生活支援総合事 業(通所介護) (2-8-43)	利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態になることを予防し、自立した日常生活を営むことを継続していくことを目的とする。 送迎、入浴、体操、レクリエーション、リハビリ、昼食、生活相談など。心身に 沿ったサービス提供を行う。

要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立

した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、 利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練 等の予防介護その他適切なサービスを提供した。

・営業日 308 日・延べ利用人数 294 名・1日平均 0.9 名

# 自立支援居宅介護事業(居宅介

事業名

護、行動援護、重 度訪問介護、同行 援護)

(2-9-52)

### 事業の具体的内容と目的

利用者が居宅において日常生活を営む事が出来るよう、身体その他の状況及び その置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護・調理・洗濯及び 掃除等の家事・生活等の相談・助言、その他生活全般にわたる援助を行う事を目 的とする。

障害者総合支援法に基づいて事業を提供する。(身体障がい者・知的障がい者・ 児童・精神障がい者)

・視覚障がい者を対象に同行援護(移動に必要な情報の提供や移動の援護、介 護等)を実施する。

キャリアアップのための研修に参加する。

### 事業実績

障がい者の在宅での生活を支援するため、居宅生活支援事業(ホームヘルプサービス)を実施した。

精神障がい者:661名 (797時間)

・身体障がい者:352名 (385時間45分)

・知的障がい者: 784名 (840時間30分)

• 児童 : 0名 (0時間)

#### 

### 事業実績

障がい者の方々が地域において自立した生活ができるよう、買物時の移動、余暇活動の参加等様々な生活支援を提供した。

延べ利用人数 :6名

延べ利用時間 : 3 時間 30 分

事業名	事業の具体的内容と目的
基準該当生活介 護事業 (2-9-54)	障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者に対し、高齢者のデイサービス(介護保険)と同様なサービス (送迎・バイタルチェック・入浴支援・昼食の提供・体操やレクリエーション) を提供し、障がいを持った方もできる限り地域において自立した日常生活を営む ことができるよう在宅福祉の充実を図ることを目的とする。 社会的孤立を解消し、心身機能の維持と向上を図る。 介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)

利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう基準該当生活介護(デイサービス)を実施した。

・営業日 308 日・延べ利用人数 230 名・1日平均 0.7名

事業名	事業の具体的内容と目的
養育支援訪問事	子育てしやすい環境の構築を図るため、家族等の援助が受けられない子育て家庭
業	等に対し、「子育て応援ヘルパー」を派遣し、育児や家事を援助することを目的と
(2-6-24)	する。
+ +II +	

### 事業実績

子供のお世話や掃除等、育児や家事の援助を行った。

・延べ利用人数:15名

・延べ利用時間: 20 時間 30 分